

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	地域おこし協力隊
氏名	高久博子
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年4月（着任令和2年2月）
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿 2. ホームページ更新およびお茶注文発送作業 3. 出品茶・加工、仕上げ作業見学・加工、手摘み作業 4. 地域訪問

1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿

いよいよ新茶摘採の月となり、新茶の最新ニュースを投稿するように努力している。スピードが重要であり、記事の内容は消費者の皆さんに関心をもってもらえるように、Instagramを意識しながら、美しい写真を撮影することを考えている。また日本語版と英語版もニーズを意識して、内容を変えて投稿している。

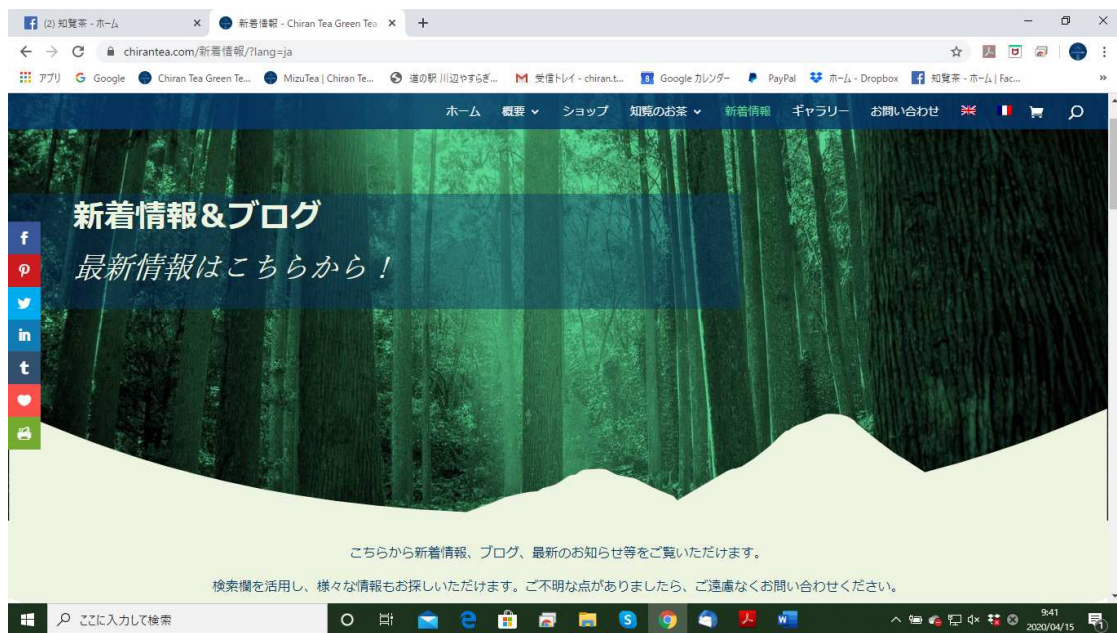
Facebookへのアクセスが増えるように、地域おこし協力隊 OG の川口氏からアドバイスもいただいた。今後対応していきたいと思う。



2. ホームページ更新およびお茶注文発送作業

新年度となり、HPの更新を急ぎたいと考えている。まずは統計など正確な数字が必要なページを優先し、昨年あまり更新されていなかった新着情報の欄に力をいれて取り組んでいる。

また、月に数回はホームページからお茶の注文があり、今月もJAいぶすきの有機煎茶の注文があった。正確な注文発送を心がけるとともに、今後も合間に茶園を訪問し、現在は商品が少ないホームページに、商品を提供していただける話にもつなげていきたいと考えている。



3. 出品茶・加工、仕上げ作業見学・加工、手摘み作業

4月の第2週より、出品茶工場で試運転が始まり、その後加工作業が開始され、月末まで仕上げ作業が行われた。

今までも工場の見学経験があるが、実際に稼働している工場内に入ることは初めてであり、稼働している機械、加工されているお茶、そして作業に携わるスタッフの様子を理解することは、貴重な経験である。各機械で実際に作業しているスタッフの迷惑にならないように配慮も必要であると感じているが、各機械の状況など、作業の忙しい中で質問させていただき、教えていただいた。生葉をベルトコンベアに入れる作業では、摘採したばかりの生葉に触れ、作業を長年されている、普段お話できない方たちとご一緒する貴重な機会となった。

地域おこし協力隊活動報告書

また月の終わりには出品茶の手摘みを体験し、製造、手作業の難しさとともに、その仕事に携わる多くの人に接する機会を得た。今後はさらに詳しく作業について理解を深めるとともに働く人々についても、理解していきたい。



4. 地域訪問

新茶シーズンに入り、お茶農家も多忙を極めている。

そのような状況の中ではあるが、お茶の春一番さん、栢川製茶さん、宮原光製茶さんを訪問させていただいた。

お茶の春一番さんは、修学旅行生などのお客様のニーズに合わせたパッケージや分量を意識してつくられているお話などを伺った。

地域おこし協力隊活動報告書

後岳の栢川製茶さんからは、外国人のお客様が店舗に直接購入にいらっしゃるお話、宮原光製茶さんからは、お茶について要望を出してこられる日本人のお客様への対応や、こまかいパンフレット作りについてなどのお話を伺った。

仕事の合間などに寄らせていただいているため、ほとんどのお店はまだ訪問ができていない状況である。今後も茶業関係の皆様を中心に、突然お邪魔させていただくと思いますが、少しでもお話をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

